

「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～ 第4回

1. 実施日

令和3年6月5日（土）1・2限

2. 場所

331 教室、332 教室、333 教室、334 教室

3. 対象

グローバル科2年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 宇川和余 佐々木啓成 中澤知里 宮崎雄史郎

5. 内容

(1) 「研究計画書」Ver.1 作成に向けて、情報収集したものや論文検索したものをグループで交流し合い、作成していく。

0. 最初の研究テーマ＝主題

・現時点でのテーマ＝主題を決定する。研究の方向性と考える。

1. 研究の動機・問題の背景

・現時点での研究動機をまとめる。問題の背景は研究を進めながら追加する。

2. 当初のリサーチクエスション（大RQ）＝研究のための問い

3. 掘り下げるためのRQ（小RQ）＝当初のRQを明らかにするための小さな問い

・RQを掘り下げ、磨くために小さな問いを立て、調査担当者を決定する。

・小RQ設定に「ツッコミシート」が活用できる。

(2) Teams コードの登録

各グループで、調べたものを共有できるように登録をする。

教師からの配布物や生徒の提出物も保存していく。

(3) 準備物

HRでの連絡（6/4）…課題研究メソッド、イノベ用ノート、スマホ持参

【中澤・宮崎】

「調査シート①」（生徒分）印刷【全員】

各 Teams に「調査シート①」のデータを入れておく。【各担当者】

6. 次回への課題

次回までに、各調査担当者が「調査シート」①作成に必要な書籍、先行研究論文に当たり、また必要ならばフィールドワークやインタビュー調査を行う。その際の費用は研究費を使用する。「調査シート」①の提出日は次回6月19日（土）とする。

※必ず1つは、先行研究論文を入れた調査とすること。

7. 学び

最初の研究テーマを基にチームで疑問点を見つけ、当初のリサーチクエスション（大RQ）を設定する。研究テーマとリサーチクエスションは、「自分が知りたいこと」「社会に役立つこと」「自分ができること」の3点が交わるものになっているかを確認する。大RQを掘り下げるための小さな問い（小RQ）を設定する。

8. 授業の振り返り

2週間前の講義内容を復習し、各グループで決めたテーマの方向性についてあらためて確認をさせた。テーマが決定したグループは、リサーチクエスチョンを決め、役割を分担させた。次回提出予定の調査シート①には、1つは先行研究を活用することとし、調べ学習だけで終わらないよう、研究を深めていく方法について教えた。

どのグループも前向きに取り組んでいた。